

平成 26 年度女子日本代表選手

(第 14 回世界女子ソフトボール選手権大会・第 17 回アジア競技大会)

選手選考の手順・手続について (3/16 改訂)

選考方法

- > 選手強化本部女子強化委員シニア担当(ヘッドコーチ含む)による選考(ピックアップ方式を基本とするが、投手は実技選考も併用)を行う。
- > 選手強化本本部で最終選考(定員の絞込み)を行い、日本ソフトボール協会理事会で正式決定とする。

具体的な選考基準

1. ISF 認可国際大会(オリンピック、アジア競技大会、世界選手権大会(シニア・ジュニア)USA カップ、カナダカップ、ジャパンカップ)での実績
2. 国内大会(日本女子リーグ 1 部・2 部、全日本総合選手権大会、実業団選手権大会、大学選手権大会、高校選手権大会)での実績
3. 各種大会(オープン戦含む)での強化委員による評価
4. 投手選考会

①投手選考会 (2月10日～12日 静岡県伊豆市・天城ドーム)

②第1回選考会議 (2月12日)

第1次選考通過 (45名)

第1次候補選手として通知

③各種大会での強化委員による評価 (熊野オープン、マドンナカップ、熊野市長杯)

④第2回選考会議 (3月16日)

第2次選考通過 (24名)

第2次候補選手として通知

⑤アジア競技大会必要書類<パスポート写し・写真>提出 (3月24日締切)

⑥各種大会での強化委員による評価 (岡山オープン、群馬オープン、トヨタカップ、女子1部リーグ開幕節《ナゴヤドーム》)

⑦女子日本リーグ第1節～第4節での強化委員による評価

⑧日本ソフトボール協会 理事会 (5月29日)での承認

世界女子選手権大会の
エントリー日程が5/31と
なったことによる選考過
程の変更

最終候補選手選出 (各遠征参加選手)

USA カップ/カナディアンオープン、世界女子選手権大会、アジア競技大会参加選手を、このリストの中から選択。

第14回世界女子ソフトボール選手権大会出場選手 (17名) エントリー (5/31)

第17回アジア競技大会出場選手 (15名) エントリー (7/18)